

単元名 音楽ランド(3)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない声で、互いに聴き合いながら歌うことができる
 (2) 旋律のもつリズムや流れ、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと、感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を理解し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。
 (3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

03070306_001

【教材名】 ありがとうの花（歌唱） (P.68)

【準備等】 範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1～2 「ありがとうの花」を、曲想を感じ取って歌う。 ○「ありがとうの花」の範唱CDを聴き、学習課題をつかむ。 ★感しやの思いをこめて歌おう ○主旋律を歌う。 ・聴唱法で歌う。 ○二部に分かれるところを練習する。（後半部分） ○歌唱表現を深める。 ・歌詞を読み取り、どんな気持ちで歌うとよいか話し合う。 ○曲想を感じ取って二部合唱する。	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の最後の歌であることを意識し、感謝の思いを込めて歌えるようにさせたい曲である。 ・前半部分のリズムが崩れやすいので、教師が拍を打ちながら繰り返し歌わせる。 ・パートを交代しながら、繰り返し合唱する。 ・最初は下パートを少ない人数から始め、お互いのパートの音を聴くことができるようになってから、下パートを増やすとよい。 ・下パートのイメージを膨らませるために、教師がリコーダーなどの旋律楽器を使って、児童の歌に合わせて演奏するとよい。 ・「ありがとう」を何（誰）に対して伝えるのかを考えることによって、この曲のメッセージ性を大切にして、歌い込ませる。 ・ありがとうの対象者を、実際にお客さんとして招いて演奏するとよい。 <p>【評】呼吸及び発音に気を付けながら歌う活動を通して「技能」を評価する。</p> <p>【評】旋律のもつリズムや流れ、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲想にふさわしい歌い方を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】歌詞や曲想を生かして歌う活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p>

【 備 考 】